



ボタニカルニュース ～牧野公園情報～

◇アサギマダラ飛来中♪

アサギマダラは日本で唯一渡りをする蝶で、その移動距離は千キロ以上にもなります！
キク科植物の蜜を好み、特にヒヨドリバナの仲間はお気に入りです。牧野公園には10月中旬あたりから11月上旬くらいまで、やってきます♪

11月の後半になると、少し花の種類は減りますが、紅葉や木の実が公園を彩っています。時々現れる、季節外れにうっかり咲いてしまう花たちもアクセントになっています。皆さんぜひ見に来てくださいね♪



◇11月に見頃のお花など♪

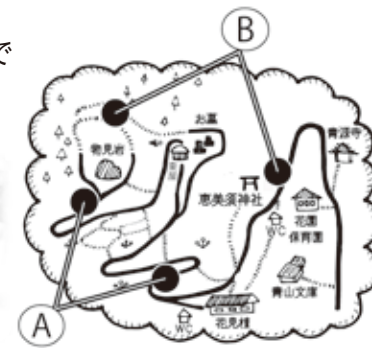
A. ノジギク（野路菊）
キク科キク属。牧野博士命名種。
花：11月下旬～12月頃。

B. キッコウハグマ（亀甲白熊）
キク科モミジハグマ属。
花：10月下旬～12月頃。

紅葉シーズン到来です♪

モミジ、イチョウなど、公園全体が赤や黄色に彩られます。

11月中旬～下旬が見頃です。



まちまるごと植物園 ～まちの植物情報～

machimarugoto syokubutsuen

◆秋のお手入れ＆散策会♪

10月6日、牧野公園で「秋のお手入れ＆散策会」が行われました。今回の最年少は小学5年生！

お手入れ場所は、「リンドウ」がたくさん育っている区域。「これは引いても良い草？」「それは○だから抜かないでね」など賑やかに作業し、さわやかな汗を流しました。11月号広報が届く頃にはちょうど見頃。皆さんのおかげで、きつと綺麗に咲いているでしょう♪

お手入れ後は、ジョウロウホトトギスなど見頃の花を、はなもりC・LOVEメンバーのガイド付きで散策しました♪



◆中学生のお手入れ会♪

10月4日には佐川中学校が牧野公園で、10月10日には尾川中学校がたいこ岩の尾川ガーデンで、それぞれ夏に植栽した場所のお手入れを行いました。みんな一生懸命頑張りました☆



青山文庫だより

新しい展示がはじまりました

毎年秋に開催している特別展。「今から150年前の佐川はどうだったのか？」を主眼として、毎年様々なテーマで開催してきましたが、本年度は「佐川領の終焉^{しゅうえん}」をテーマとしました。この「終焉」の経緯^{しやうえん}については前回紹介したので、今回はこの特別展の意味について紹介したいと思います。

ご存じのとおり、佐川町は江戸時代に「佐川領（深尾領）」の一部で、土佐藩筆頭家老の佐川深尾家の領地でした。ただし、江戸時代の佐川領に関する資料はあまり残っていないため、断片的なことしかわかっていません。

このような状況の中、江戸時代の歴史的事実を上手くまとめたのが『佐川町史 上巻（昭和57年発行／以下「町史」）』の近世部分です。今回の特別展は、町史にまとめられた江戸時代の佐川の歴史を、「佐川領がどのようにできて、どのように変化して、どのように終焉を迎えたのか」を具体的な資料を提示しながら、時間の流れに沿って紹介しています。

展示のタイトルこそ「終焉」ですが、実は、「佐川領」の展示となっています。過去に開催した特別展「佐川の幕末」や「土佐勤王



党展」など、それぞれが異なった切り口で紹介した展示の積み重ねで、今回の「江戸時代の佐川」という大きな歴史を紹介する展示にたどり着いたように思います。

資料の制約を受ける以上、町史の内容を越える歴史を見いだすことは容易ではありませんが、佐川深尾家の家臣たちの身分階層について、今回の特別展で新たに定義しています（その詳細は、長くなりますので次回紹介したいと思います）。

ここまでの規模の佐川領の展示（深尾家の展示）はしばらくできませんので、この機会をお見逃しなく、ぜひご覧ください。ご来館をお待ちしております。

（青山文庫 藤田有紀）

△展示案内▽

○特別展「佐川領の終焉」

○秋の企画展「志士たちの遺墨」

10月5日（土）～1月13日（月・祝）

文芸

川柳

食品の 無駄をカラスに 突かれる
綻びを 隠すつもりが 諸に出る
錆どめに 川柳と言う 予防薬

年老えば 演歌なりけり 郷愁の華
三戸岡 浄（ペンネーム）

俳句

手作りの 月見団子や 母遠し

法師ゼミ 夏昏くして 急ぐか生
三戸岡 浄（ペンネーム）

短歌

眼は見えて 脚は歩いて 当たり前を
誰か思はむ 叶わざる日を
三戸岡 浄（ペンネーム）
行き合いの 空となりたる 大野ヶ原に
ごつくんごくりと 生乳を飲む
立ち枯れし 篋いくつ この年は
台風もまた やよ多かりき
黒岩 英起

あちこちに張る蜘蛛の糸

巻き取りて川や海にと遊ぶ魚釣り
ユニクロはペットボトルから衣服作り
地球を救う救世主なり
福寿草（ペンネーム）

川柳・俳句・短歌を広報さかわに掲載してみませんか？

※1月号への掲載を希望される方は12月1日(日)まで

投稿方法：氏名・住所・電話番号と、川柳・俳句・短歌のいずれの部門かをご記入のうえ封書やはがき、ファックスにてお送りください。応募多数の場合は抽選により掲載します。